

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 九州日誠電気株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内内で共有、実践している。	●		・企業理念を明文化し、ポケットブックにまとめて従業員に配布し、会社のあるべき姿を従業員に説明して共有している。								8	9												17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令等の要求項目を把握し、遵守評価を行う体制を構築している。 ・新規導入を対象とした事前評価体制を構築している。																				16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として公正な取引に努め、該当部門の社員に周知している。 ・不正競争行為の禁止を含む行動規範を整備し、明文化している。										10										16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・社内に環境管理委員会をはじめとする組織体制を構築し、環境専門の担当者を環境管理事務局として設け、全社で環境管理の維持改善に取り組んでいる。(ISO14001認証取得済)																				16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・産業用財産権について規程を設けている。 ・知的財産に関する研修や勉強会を実施している。								8.2	9												
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報保護に関する規程を設けている。 ・個人情報取扱担当者及び責任者を明確にし、適切に運用する事で情報漏洩防止を徹底している。 ・情報セキュリティに関する規程を整備し、責任を明確化して運用している。																				16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・顧客との会議や監査等のコミュニケーションにより、顧客ニーズを把握し対応する事で顧客満足度を高め、信頼を醸成させる事を重視している。 ・取引先や関係各社等のステークホルダーと連携して「品質向上」や「コストダウン」の取組みにより、より良い製品づくりを目指している。																			16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・取引先の活動に関心を持ち、対話に努めている。 ・CO2排出量の削減をはじめとした地球環境や人権侵害等への配慮など、問題意識の共有に努めている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17				
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・BCPを策定し内容改訂を行っている。 ・防災管理委員会を設け防災体制を構築し、毎年内容改善を進めている。更に熊本地震の経験を踏まえて改善を進めている。 ・定期的な総合防災訓練、安否確認訓練を行っている。										9		11		13.1				16	17		
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●											8	9										17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5			8				12	13	14	15	16	17			
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・社内規程で差別や各種ハラスメントの禁止を明確化し、管理職への研修教育や社員への周知教育を行っている。 ・社員へのアンケート調査等で実態把握を行っており、社内に相談窓口を設置している。				4.3	5.1			8.5		10.2								16.1	16.2	16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・安全衛生委員会を中心に職場の安全衛生面の改善に継続的に取り組んでいる。(リスクアセスメント実施とリスク低減活動の推進) ・メンタルヘルスのカウンセリングサービスを整えている。			3					8.8													
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員(正社員・嘱託社員・契約社員)の公正な待遇を行なっている。					5.5			8.5		10.2	10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・業務効率化と負荷軽減につながる改善を推奨する改善提案制度を設けている。 ・現場作業は多能化を進め、社員が休暇を取得し易い環境を整えている。 ・残業は事前申請承認により抑制管理を行っている。			3		5.5			8.5	8.8		10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・階層別教育制度を設け、個々の段階に応じたキャリア育成教育を進めている。 ・社内での専門的教育を計画的に実施し、外部教育の活用を含め専門スキルの向上を行っている。 ・社員の能力をスキルリストで把握し、社員の能力開発を目指した教育計画立案に活用している。				4	5.5			8	9												
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・業務における心身負担を軽減する改善を実施している。 ・健康診断結果により健康増進活動への参加を案内している。 ・健康診断、人間ドック、インフルエンザ予防接種の補助を行っている。			3					8												17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・社内の業務運営や人事考課、昇進・昇格等に人種性別などの違いによる差別的待遇はない。 ・障害や疾病等で歩行負担がある方の駐車場の場所の配慮をしている。				4.4	5.1	5.5		8.5		10.2	10.3								16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・出張・外出を抑制し、外部との打合せにはWeb会議を活用している。			3						8	9.1		11	12								
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●											8	9.1		11	12								
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●						3	4				8	9			12								

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 九州日誠電気株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・ISO14001を取得している。 ・有害化学物質を把握し、適切な管理及び処理に取り組んでいる。 ・廃棄物の適正処理を継続し、排出量の抑制に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・全社、全部門で省エネ活動を推進している。 ・電気、重油、ガソリン・灯油は全て、使用量から発熱量を算出し、最終的に重油量に換算して月々の使用量を把握している。 ・電力では高効率化(インバーター化改造や高効率設備への更新等)、未稼働設備の電源OFF、照明LED化等を行っている。 ・重油ではボイラー設備の効率化や管理パラメータ見直し、配管断熱改善等を進めている。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・電気、重油、ガソリン・灯油は、月々の使用量から、CO2排出係数によってCO2排出量に換算して毎月の実績を把握している。 ・絶対値削減と原単位での削減を目指して活動している。(工場稼働の効率化やレイアウト適正化等の取組み)		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・プラスチックの環境影響を環境教育等で従業員に周知している。 ・工場排水の適切な処理により、環境影響が発生しない様に管理している。 ・環境配慮製品を指定購入する事で生物多様性の保全に努めている。						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・再生用紙の利用を推進している。 ・ペーパーレス化、裏紙の利用、縮小両面印刷を促進している。 ・工場における資源利用の削減や再利用を推進している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・上水道は蛇口への節水マ設置や湧水活用による「節水」を行っている。 ・「工水」の再生再利用を行なっている。 ・「排水等の適切な処理」を実施している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・環境配慮製品の購入を行なっている。 ・RoHS対応を行っている。 ・再生用紙の利用を推進している。									9.4		12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●			1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・工場敷地内の緑化保全を行なっている。 ・グリーンカーテン設置を行なっている。											11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・電力使用機器の高効率化を推進している。 ・重油ボイラー等の効率運用のための機器整備を行っている。 ・配管断熱や経路改善等の取組みによる維持改善を進めている。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●														12.2 12.5		14				
35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●											7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13			17.17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・製品の安全性や品質を確保する為、顧客要求仕様を十分満足する製品造りを全社で取り組んでいる。 (顧客要求仕様規格に対し、十分に余裕のある工程能力の実現と維持(統計管理等の適用を含む)) ・顧客とのコミュニケーションを通じてニーズ把握に努め、常に顧客ニーズに対応する様にしている。			3.9							9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・作業負荷軽減のため、治工具類導入、備品の改善、設備操作改善等の取組みを行っている。 ・作業設計においてバーコード照合化やフルブルーの考慮を行なっている。 ・高齢者が作業し易い様に「設備の画面表示レイアウトやフォント」「帳票類のフォントや記入欄」を見易く、記入し易い様に改善している。									9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●								2.3 2.4			7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15	17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●											7				12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。	●									2.3 2.4				8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 九州日誠電気株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・従業員に地域ボランティア活動情報を提供し、参画を奨励している。 ・地域事業者として地域の各種活動に参加協力している。 ・消防団員となっている従業員の緊急時出動協力を行なっている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・大規模災害を想定した備蓄品を常備している。 ・工場内耐震対策を実施している。 ・防災管理委員会を設け防災管理計画に従い各種訓練等を実施している。 ・従業員の救命講習受講、担架搬送・消火器訓練等を実施している。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・消防団員となっている従業員の緊急時出動協力を行なっている。	1.5			3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●						4					8.6		10.2						17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●						4.4					8.5 8.6								17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。